



近未来コンクリート研究会（十河茂幸代表、写真）による3つのテーマ別協議会（C、M、P）の2019年度第2回会合が21日、広島市中区で

## 3テーマ別協議会開く

# 解決策議論、発注者と意見交換へ 近未来コンクリート研究会

開かれた。会合では、ひび割れ抑制、延命化、生産性向上に関する現状の課題をさらに抽出したほか、根本的な解決策などについて議論。今後さらに意見を集約し、発注者との意見交換などを企画していく方針も申し合われた。

同会は、コンクリート

構造物の長寿命化に向けた異業種間の連携目的に、元広島工業大学教授の十河代表が中心となつて昨年4月に設立した。

「初期ひび割れ抑制技術（C）協議会」「延命化のための維持管理技術（M）協議会」「コンクリートの生産性向上（P）協議会」の3つの協議会



協議会の もよう

この日のC協議会（主査＝竹田宣典広島工業大学教授）には約20人が参加し、マスコンクリートのひび割れ抑制に効果があるとされる「フライアッシュ」の活用事例の紹介に加え、施工者に責任が向けられがちな初期ひび割れについて、設計や歩掛り等の根本的な問題を議論。

M協議会（主査＝坂本英輔広島工業大学准教授）では、働き方改革が叫ばれつつ、コミュニケーションの不足から逆に必要書類が増えている現状が明らかに。状況を把握するためのアンケート調査の実施に加え、施工の機械化事例をまとめた技術報告などを行っていくとした。

このほか、特別講演も開かれ、フリーロックの檜垣誠氏が「いまさら聞けない混和剤の役割」として基礎知識や裏話などを披露した。

十河代表は今後の展開について、「建設現場やインフラには多くの課題があり、関連業界の皆さんと力を合わせて課題解決の道を探りたい」と話していた。

ストの作成、市町職員を対象とした実務研修会などを開催して業務を支援する。

また、P協議会（主査＝坂本英輔広島工業大学准教授）では、働き方改革が叫ばれつつ、コミュニケーションの不足から逆に必要書類が増えている現状が明らかに。状況を把握するためのアンケート調査の実施に加え、施工の機械化事例をまとめた技術報告などを行っていくとした。

このほか、特別講演も開かれ、フリーロックの檜垣誠氏が「いまさら聞けない混和剤の役割」として基礎知識や裏話などを披露した。

十河代表は今後の展開について、「建設現場やインフラには多くの課題があり、関連業界の皆さんと力を合わせて課題解決の道を探りたい」と話していた。

このほか、特別講演も開かれ、フリーロックの檜垣誠氏が「いまさら聞けない混和剤の役割」として基礎知識や裏話などを披露した。

十河代表は今後の展開について、「建設現場やインフラには多くの課題があり、関連業界の皆さんと力を合わせて課題解決の道を探りたい」と話していた。